



「すこやかで、いつまでも安心のあるまち あこう」を目指して

日本の総人口は平成26年10月1日現在、1億2,708万人で、そのうち65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3,300万人となっており、総人口に占める割合(高齢化率)は26.0%です。

赤穂市でも、平成27年6月末時点で、高齢化率は29.2%まで上昇しています。これからも高齢化は進行し、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、市民の約3人に1人が高齢者となる見込みです。

このように高齢化が進む社会の中で、いつまでも健康で生きがいを持って、安心して暮らしていくためには、市民一人ひとりが健康づくりや介護予防に取り組むとともに、高齢者の社会参加と地域の皆さんによる支え合いを広めていくことが重要です。

赤穂市の人口と高齢化率の推移



※印は「第6期赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」より

みんなで築こう 安心と活力ある長寿社会

高齢者福祉についての関心と理解を深め、高齢者自らの生活向上意欲を促すため、老人福祉法では、9月15日を「老人の日」、9月15日～21日までを「老人週間」と定め、各地で長寿を祝う行事などが行われています。

なお「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成15年から「敬老の日」が、9月の第3月曜日となり、今年からは9月21日となっています。市では、9月1日、市長、市議会議員、社会福祉協議会理事長、自治会連合会長が、市内最高齢者等の長寿をお祝いしました。

○男性最高齢・加里屋 児嶋 教静さん (103歳)

○女性最高齢・西有年 原田 そのさん (107歳)

○最高齢夫婦・南野中 宮本 幸夫さん (102歳) とみ奈さん (95歳)

敬老祝金等が贈呈されます

〔赤穂市祝金〕 2万円
米寿(88歳)

大正15年9月17日～昭和2年9月16日生まれの人
白寿(99歳) 3万円
大正4年9月17日～大正5年9月16日生まれの人

〔兵庫県祝品〕 100歳 知事の祝状・記念品
大正4年4月1日～大正5年3月31日生まれの人

地域で敬老会を開催します

多年にわたり、地域の発展に寄与されてきた高齢者の方々に感謝

●敬老会対象者数(H27.7.31現在)

| 地区名 | 対象者数 | 男 | 女 |
|-----|-------|-------|-------|
| 赤穂 | 1,250 | 480 | 770 |
| 城西 | 816 | 290 | 526 |
| 塩屋 | 1,187 | 434 | 753 |
| 西部 | 496 | 205 | 291 |
| 尾崎 | 1,151 | 447 | 704 |
| 御崎 | 534 | 217 | 317 |
| 坂越 | 743 | 305 | 438 |
| 高雄 | 389 | 140 | 249 |
| 有年 | 647 | 228 | 419 |
| 合計 | 7,213 | 2,746 | 4,467 |

※対象者：平成27年9月15日現在で満75歳以上になる人(昭和15年9月16日以前に生まれた人)

し、地域ぐるみで長寿を祝うことを目的に、今年も敬老の日前後に敬老会がまちづくり単位や自治会単位で開催されます。

毎年、地域ごとの特色や趣向を凝らした敬老会が開催されており、多くの対象者の皆さんからご好評いただいています。

地域のつながりが希薄化しているとされる昨今、市民の皆さんが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるためには、地域の「絆」がますます重要となります。

地域のふれあいを大切にした敬老会を開催することで、地域の「絆」を強めるきっかけになればと思います。

対象者の皆さんは、ぜひご来場

の上、楽しいひと時をお過ごしください。

地域で育心健康づくりの輪 いきいき百歳体操

いきいき百歳体操は地域の仲間と一緒に、自主的に運動を実践することで、体力をつけるだけでなく、地域で孤立せず、楽しい仲間づくりに役立つ体操です。

7月末現在で、4グループ74人が実践しています。

地域で体操を始めるには、次の3つの条件が必要です。

- ① おおむね65歳以上、4人以上のグループで自主的に体操を行うことができること。
- ② 体操を週に1回以上実施し、3カ月以上継続して取り組むことができること。
- ③ 体操に必要な会場、椅子、テレビ、DVDプレーヤーが準備できること。

※条件は変更する場合があります。

●問い合わせ先
保健センター

☎ 43・9855